

北海道大学農学院修士論文発表会プログラム

日時： 平成21年2月9日（月）～2月10日（火）

場所： S21, S31, N11, N31, W109

2月9日（月）

(S21)	9:00-15:50	生物生産工学セッション
(S31)	9:00-17:30	畜産科学セッション
(N11)	9:00-11:45	植物育種科学セッション
	13:00-16:50	応用分子生物学セッション
(N31)	9:30-15:00	共生農業資源経済学セッション
(W109)	9:00-17:00	生化学・微生物科学セッション

2月10日（火）

(S21)	9:00-13:30	作物生産生物学セッション
	15:00-16:30	生物生態・体系学セッション
(S31)	9:05-14:20	地域環境学セッション
(N11)	9:00-12:15	有機化学セッション
	13:30-17:00	食品科学セッション
(N31)	9:00-12:10	森林・緑地管理セッション
	13:00-17:30	森林資源科学セッション

2月9日（月）

S 2 1

生物生産工学セッション（代表：木村俊範教授）

9:00-9:20

辻野 敦子（食品加工工学）

リポキシゲナーゼ欠失大豆の豆腐加工適正

9:20-9:40

藤川 咲子（食品総合技術監理学）

飲用牛乳の理化学特性と官能評価

9:40-10:00

Manuel V-A.（バイオマス生産制御学）

Line detection for agricultural vision-guidance system using object-oriented software framework with flexible base architecture

10:00-10:20

Burce M.E C.（バイオマス生産制御学）

Seeder and precise granular fertilizer application control system for zero-tillage crop cultivation

10:20-10:30 <休憩>

10:30-10:50

小熊 眞惟（ビークルロボティクス）

クローラロボットトラクタの運動モデルに関する研究

10:50-11:10

崔 鐘民（ビークルロボティクス）

拡張現実による夜間農作業支援技術に関する研究

11:10-11:30

西野 邦彦（ビークルロボティクス）

菜種を原料としたバイオディーゼル燃料の利用に関する研究

11:30-11:50

速水 敦郎（生物環境情報学）

周波数解析による牧草地空間の情報化と利用に関する研究

11:50-13:00 <昼休み>

13:00-13:20

宮澤 宏至（ビークルロボティクス）

リモートセンシングによる水稻生育環境のモニタリングに関する研究

13:20-13:40

若林 宗平（ビークルロボティクス）

バイオガス・軽油二燃料トラクタ機関の制御法に関する研究

13:40-14:00

小林 和史（生物環境情報学）

衛星データを用いた東南アジア森林火災の検知および火災後の植生回復に関する研究

14:00-14:20

石川 今日子（バイオマスエネルギー転換学）

寒冷地水田におけるメタン発酵消化液施肥設計の検討

14:20-14:30 <休憩>

14:30-14:50

石川 貴智（バイオマスエネルギー転換学）

バイオガス精製圧縮利用の LCA

14:50-15:10

中川 正悟（バイオマスエネルギー転換学）

家畜ふん尿メタン発酵における副資材としての水稻の投入効果

15:10-15:30

野池 傑（バイオマスエネルギー転換学）

バイオガス精製の経済的評価

15:30-15:50

山下 善道（農業循環工学）

マイクロバブルによる殺菌および浄化効果

S 3 1

畜産科学セッション（代表：中村 富美男教授）

9:00-9:20

鈴木 佳介（食肉科学）
筋細胞の分化に及ぼすデコリンの影響

9:20-9:40

八坂 尚史（食肉科学）
細胞外マトリックス分子とミオスタチンの相互作用に関する研究

9:40-10:00

林 宣隆（食品素材開発学）
発色剤無添加の食肉製品における亜鉛プロトポルフィリンIX形成機構に関する研究

10:00-10:10 <休憩>

10:10-10:30

北條 晶子（機能性食品変換学）
ウシ唾液中のラクトフェリンと相互作用するタンパク質の探索

10:30-10:50

田島 恵梨香（機能性食品変換学）
ビフィズス菌のラクトフェリン結合性タンパク質に関する研究

10:50-11:10

スィーマ・カフレ（酪農食品科学）
High poteintial bioactive peptides from peptic and tryptic hydrolysate of whey proteins - antioxidation and growth stimulation for probiotics -

11:10-11:20 <休憩>

11:20-11:40

前田 尚毅（食品素材開発学）
細胞外マトリックスが間葉系幹細胞の分化に及ぼす影響

11:40-12:00

鹿嶋 俊宏（食品素材開発学）
血液成分の創傷治癒促進作用

12:00-12:20

吉江 秋彦（副生物科学）
エゾシカ外皮の季節変動

12:20-13:30 <昼休み>

13:30-13:50

井上 新哉（家畜改良増殖学）

マウス2-cell block胚に関する原因遺伝子座の染色体上の同定と候補遺伝子解析

13:50-14:10

小池 剛（家畜改良増殖学）

マウス2-cell block胚に関する原因候補遺伝子の多型解析および顕微操作による解除

14:10-14:30

山下 司朗（家畜改良増殖学）

マウス初期胚における時計遺伝子の多型とBmal1遺伝子導入マウスを用いた発現解析

14:30-14:50

二宮 彰紀（家畜改良増殖学）

ヤギおよびヒツジのウイルス抵抗性Mx遺伝子に関する研究

14:50-15:00 <休憩>

15:00-15:20

近藤 創（畜牧体系学）

放牧地における乳量レベルの異なる発情泌乳牛の行動解析

15:20-15:40

堀口 康太（畜牧体系学）

放牧前に給与する非繊維性炭水化物飼料の分解速度が乳牛の窒素利用に及ぼす影響

15:40-16:00

Aye Sander Cho（畜牧体系学）

Evaluation of *In Vitro* Gas Production Method and Associative Effects of Rumen Digestion between Pasture and Supplementary Feeds（ガスプロダクション法による放牧草と補助飼料のルーメン内消化における相乗効果の評価）

16:00-16:10 <休憩>

16:10-16:30

上木 孝亮（家畜栄養学）

ルーメン内繊維分解コンソーシウムに関する生態学的研究

16:30-16:50

奥平 香菜（家畜栄養学）

酵母由来界面活性物質および枯草菌製剤によるルーメン発酵制御

16:50-17:10

ベケレ・アシャリユー（家畜栄養学）

Studies on ruminal prevotellas: exploration of their diversity and ecology
（ルーメン内*Prevotella*属細菌の多様性および生態に関する研究）

17:10-17:30

松井 大典（家畜栄養学）

ルーメン内 *Prevotella* 属新規菌株の分離培養化と生理機能解析

N11

植物育種科学セッション（代表：増田税教授）

9:00-9:15

千葉 あや乃（植物育種学）

突然変異体を用いたイネ小穂の形態形成に関する遺伝解析 -内穎形成に関わる変異体を中心として-

9:15-9:30

田中 匠（植物育種学）

アジア稲における2つの主要な非脱粒性遺伝子周辺の連鎖不平衡

9:30-9:45

中川 浩輔（遺伝子制御学）

RNAポリメラーゼサブユニット遺伝子に生じた機能喪失変異の遺伝機構の解明

9:45-10:00

松永 宗幸（遺伝子制御学）

テンサイ Owen 型細胞質雄性不稔におけるミトコンドリア機能解析

10:00-10:15

湯上 広幸（遺伝子制御学）

フダンソウ(*Beta vulgaris* L.)におけるミトコンドリアゲノムの多様性に関する研究

10:15-10:30

新井 麻衣子（植物遺伝資源学）

ダイズの分子育種に向けて LjMYB12 を利用したフラボノイド生合成関連遺伝子

の発現制御

10:30-10:45

池田 達哉（植物遺伝資源学）

ダイズ品種「トヨハルカ」の耐冷性に関する QTL の同定と特性解析

10:45-11:00

西野 計（植物病原学）

インゲン黄斑モザイクウイルス CS 系統ゲノムに対する感染性 cDNA の構築

11:00-11:15

末田 香恵（細胞工学）

キュウリモザイクウイルス 2b 変異タンパク質の大腸菌及び植物での発現解析

11:15-11:30

松澤 章彦（細胞工学）

ウイルスの塩基配列決定と多目的ベクター開発

11:30-11:45

河合 文珠（細胞工学）

RNA 機能による DNA メチル化と転写不活性化の効率的誘導に関する研究

N 1 1

応用分子生物学セッション（代表：伴戸久徳教授）

13:00-13:15

内藤 洋太（応用分子昆虫学）

シロチョウ科 2 種における BAC-FISH マッピング

13:15-13:30

山口 拓也（応用分子昆虫学）

Bacillus thuringiensis Cry8 トキシンに関する研究

13:30-13:45

船橋 拓郎（応用分子昆虫学）

Cry44A の分子内切断および 44AORF2 が殺虫活性に与える影響

13:45-14:00

岡本 拓士（応用分子昆虫学）

コガネムシ抵抗性芝草の作出

14:00-14:15

大塚 大輔（応用分子昆虫学）

BmNPV 耐性細胞の作出に関する研究

14:15-14:30

河野 佳子（応用分子昆虫学）

カイコ NPV の膜タンパク質遺伝子 (*gp64*) 変異による増殖特性変化

14:30-14:40 <休憩>

14:40-14:55

鐘ヶ江 倫世（分子酵素学）

Bacillus sp. KM13由来Isomaltooligosaccharide 6- α -glucosyltransferaseの構造と機能に関する研究

14:55-15:10

貞廣 樹里（分子酵素学）

Dextrin dextranaseの構造と機能に関する研究 ―組換え酵素の生産系確立と活性に必要な領域の決定―

15:10-15:25

西村 茉莉子（分子酵素学）

*Schwanniomyces occidentalis*由来 α -glucosidaseの分子酵素学的研究 ―サブサイト+1に位置するアミノ酸残基への変異導入によるグルコシド結合選択性への影響―

15:25-15:40

高橋 将人（分子生物学）

シロイヌナズナ・シスタチオニン γ -シンターゼ遺伝子の発現制御機構の研究

15:40-15:55

長谷川 傑（生命科学院・生命システム科学コース）

シロイヌナズナ シスタチオニン γ -シンターゼ遺伝子の発現制御にトランスに関わる因子の研究

15:55-16:05 <休憩>

16:05-16:20

石杜 周子（生命科学院・生命システム科学コース）

ミトコンドリア機能調節因子としてのDJ-1の機能

16:20-16:35

加藤 圭佑（生命科学院・生命システム科学コース）
網膜色素変性症原因因子PAP-1における結合タンパク質の同定および解析

16:35-16:50

成田 梨奈（生命科学院・生命システム科学コース）
タンパク質分解系におけるMM-1とRabring7の相互作用

N 3 1

共生農業資源経済学セッション（代表：長南史男教授）

9:30-10:00

後藤 健次郎（農業環境政策学）
日本・オーストラリア間自由貿易協定締結による乳製品の輸入増加に関する産業連関分析

10:00-10:30

宮田 歩（農業環境政策学）
植物検疫措置の輸入制限効果に関する実証分析

10:30-11:00

座間 富美彦（農業経営学）
草地型酪農地帯における新規参入支援システムの展開方向 -浜中町を事例として-

11:00-11:30

烏仁 高娃（協同組合学）
中国の市場拡大期における家族経営酪農と集乳所の性格 -メラミン問題の発生根拠-

11:30-13:00 <昼休み>

13:00-13:30

伊藤 恭一（食料農業市場学）
北海道における酒造メーカーのマーケティング戦略と原料米選択

13:30-14:00

古賀 悦朗（食料農業市場学）
今日の大豆流通と問屋の機能変化に関する研究 -国産需要増加期における道内産地問屋を対象として-

14:00-14:30

小出 正弘（水産資源経営学）
捕鯨モラトリアム以降における鯨肉市場の形成に関する研究

14:30-15:00
董 雅鳳（水産資源経営学）
台湾におけるコンブの消費・流通形態に関する研究

W109

生化学・微生物科学セッション（代表：松井博和教授）

9:00- 9:20
椎名 春樹（微生物生理学）
好気性細菌における D-phenylserine 代謝経路の多様性

9:20- 9:40
清水 久美子（微生物生理学）
pdhR 欠損変異が大腸菌の糖代謝におよぼす影響

9:40-10:00
中村 勇介（胃腸内圏微生物学）
新規ウルソデオキシコール酸生成腸内細菌の単離および生成反応の解析

10:00-10:20
村上 知子（微生物生理学）
Pseudomonas sp.T62 由来 L- *threo*-3-hydroxyaspartate dehydratase の構造・機能解析

10:20-10:30 <休憩>

10:30-10:50
岡 文香（機能性食品変換学）
イネ signal peptidase 遺伝子のクローニングと発現特性

10:50-11:10
河内 慎平（機能性食品変換学）
Ruminococcus albus NE1 株由来セロビオース資化性酵素の精製と酵素化学的諸性質の解析

11:10-11:30
長屋 裕之（機能性食品変換学）
イネ登熟種子中におけるリン酸化タンパク質の同定：Hsp82 遺伝子のクローニ

ングと機能解析

11:30-11:50

西村 祐美（生物化学）

ジャガイモ塊茎 ADP-glucose pyrophosphorylase のアロステリック調節に関する研究

11:50-12:10

山本 真希（生物化学）

シロイヌナズナ ADP-glucose pyrophosphorylase サブユニット *Ap13* 遺伝子の種子特異的発現機構の解析

12:10-13:00 <昼休み>

13:00-13:20

加藤 知子（応用菌学）

アラスカ永久凍土の氷楔から単離された細菌の分類と同定について

13:20-13:40

加藤 里佳（応用菌学）

ダイズ由来生理活性ペプチドの大腸菌を用いた生産

13:40-14:00

船田 真人（応用菌学）

Fusarium graminearum NIV アセチル化酵素遺伝子 *Tri7* の異種発現

14:00-14:20

相野 憲一（基礎環境微生物学）

藍染め染色液の発酵過程における細菌相の変化

14:20-14:40

鈴木 綾（基礎環境微生物学）

メタゲノム法を用いた未利用遺伝子資源探索における集積培養法の効果

14:40-15:00 <休憩>

15:00-15:20

荒川 竜太（根圏制御学）

酸性硫酸塩土壌におけるイネ科パイオニア植物ススキの内生細菌由来 *nifH* mRNA の多様性：土壌理化学性および菌根共生の影響

15:20-15:40

阿久澤 拓己（根圏環境制御学）

草地と畑地におけるアーバスキュラー菌根菌群の異なる低温反応

15:40-16:00

榎本 匠（植物栄養学）

窒素無機化過程に着目した植物による有機質肥料由来窒素の獲得

16:00-16:20

尾山 千夏（根圏環境制御学）

マイクロバブルによる根圏への酸素供給がトマト、キュウリ、およびメロンの生育に及ぼす影響

16:20-16:40

酒井 有希（植物栄養学）

ヒ素超集積植物モエジマシダのヒ素耐性に対するチオール化合物の寄与

16:40-17:00

丸山 隼人（根圏環境制御学）

シロバナルーピン由来酸性ホスファターゼ遺伝子の解析とリン利用効率の改善への応用

2月10日(火)

S 2 1

作物生産生物学セッション (代表：鈴木正彦教授)

9:00-9:15

青野 桂之 (作物学)

電解水を利用した病虫害防除がバレイショの成育および収量に与える影響

9:15-9:30

今津 翠 (作物学)

コムギにおける植物体内生成成分と根貫通力の関係

9:30-9:45

岩佐 倫希 (作物学)

バレイショ遺伝子マップ集団における根貫通力の遺伝的変異

9:45-10:00

紀藤 謙治 (作物学)

サイレージ用トウモロコシの根形質と耐倒伏性に関する研究

10:00-10:15

田子 旭彦 (作物学)

土壤乾燥条件下におけるバレイショの吸水特性に関する研究

10:15-10:30 <休憩>

10:30-10:45

中村 郷久 (作物学)

有機栽培における雑草の成育がトウモロコシおよびダイズの成育と収量に及ぼす影響

10:45-11:00 Pema Wangchuk (作物学)

Growth analysis of drought tolerant potato lines (Konyu lines) in comparison to Konafubuki under different soil moisture conditions

11:00-11:15

望月 達史 (作物生理学)

タマネギ鱗茎形成を制御する内生因子-阻害物質と促進物質

11:15-11:30

下山 奈穂美 (園芸学)

北海道における夏秋どりイチゴの品質に及ぼす要因の解析

11:30-11:45

戸田 雅美（園芸学）

数種アブラナ科スプラウトの機能性成分含量に及ぼす光質の影響

11:45-13:00 <昼休み>

13:00-13:15

廣富 大（植物病理学）

Phytophthora infestans のトマトおよびジャガイモに対する病原力に関する研究

13:15-13:30

水野 はるか（植物病理学）

イネ残渣に分布する Fusarium graminearum 種複合体がコムギ 赤かび病発生に及ぼす影響

S 2 1

生物生態・体系学セッション（代表：秋元信一教授）

15:00-15:15

小林 和也（動物生態学）

オスが父親のゲノムのみを受け継ぐウメマツアリ (*Vollenhovia emeryi*) の進化史

15:15-15:30

青野 恵実（昆虫体系学）

A morphological study on the second instars of some Odonaspidini (Sternorrhyncha :Coccoidea : Diaspididae)

15:30-15:45

松村 洋子（昆虫体系学）

Sexual selection in the leaf beetle *Lema coronata* with elongated genitalia
（伸張した交尾器をもつトゲアシクビボソハムシにおける性選択）

15:45-16:00

岩崎 健（植物生態・体系学）

スゲ属ヒメシラスゲ節数種の地下構造について

16:00-16:15

川角 法子 (植物生態・体系学)
釧路湿原の低層湿原における埋土種子組成

16:15-16:30

堀端 純平 (植物生態・体系学)
標津川蛇行復元予定区域の植物群落の現状とその問題点

S 3 1

地域環境学セッション (代表：浦野慎一教授)

9:05-9:25

藺部 礼 (農林環境情報学)
合成開口レーダおよび光学センサを用いた土壌水分の推定に関する研究

9:25-9:45

遊佐 智和 (農林環境情報学)
ハイパースペクトルデータによる作物生育のモニタリング

9:45-10:05

鈴村 大地 (土地改良学)
泥炭地の水文環境変化と地盤沈下に関する研究

10:05-10:25

下川 昇大 (土地改良学)
酪農流域河川水質に対する「家畜排泄物管理適正化法」の評価

10:25-10:40 <休憩>

10:40-11:00

泉谷 一樹 (生物環境物理学)
釧路湿原におけるハンノキ林侵入が泥炭の生成・分解に与える影響

11:00-11:20

田村 和杏 (土壌保全学)
黒ボク土下層土の見かけの塩吸収による硝酸イオンの吸着と移動遅延

11:20-11:40

森本 聡 (土壌保全学)
泥炭林土壌における温室効果ガスの挙動

11:40-12:00

堀井 惟人（土壌保全学）
低コスト草地整備に向けた土壌改良のあり方について

12:00-13:00 <昼休み>

13:00-13:20
寺田 大輔（土壌保全学）
泥炭農地の土壌管理に関する研究

13:20-13:40
飯塚 菜摘（土壌学）
異なる飼料作物生産体系における温室効果ガス収支の評価

13:40-14:00
中田 雅也（土壌学）
草地酪農生態系における窒素流出と土壌の脱窒能の関係

14:00-14:20
花田 健太郎（土壌学）
火山灰土壌に立地するカラマツ林の養分制限

N11 **有機化学セッション（代表：橋床泰之教授）**

9:00- 9:20
原 新太郎（生態化学）
東シベリア・タイガ林林床土壌微生物群集がもつ窒素固定能の評価

9:20- 9:40
杉田 法順（生態化学）
アブラナ科植物根部より分離した *Bacillus amyloliquefaciens* による *Fusarium* 菌糸の伸長阻害

9:40- 10:00
葵 新（生物有機化学）
Theobroxide 処理による植物応答機構の有機化学的解明

10:00- 10:20
笹子 浩史（生物有機化学）
根寄生雑草ストライガの吸器形成物質に関する化学的研究

10:20- 10:40

香島 貴純（化学生物学）

糸状菌 *Lasidiopodia theobromae* における lasidioplodin 類の生合成機構の解明

10:40-10:55 <休憩>

10:55- 11:15

山田 陽介（化学生物学）

ツクシウロコゴケ *Heteroscyphus planus* 培養細胞からの無細胞抽出液による (-)-calarene への環化反応

11:15- 11:35

大本 笑子（木質生命化学）

天然物全合成に向けた不斉合成反応の検討

11:35- 11:55

鈴木 啓介（木質生命化学）

HBS リグニンのエーテル抽出画分の解析

11:55- 12:15

竹中 淳一（木質生命化学）

ミコフェノール酸誘導体の IMPDH 阻害活性と分化誘導活性

N 1 1

食品科学セッション（代表：川端潤教授）

13:30-13:50

田淵 将人（食品機能化学）

蔵辺大黃の α -アミラーゼ阻害成分の化学的解析

13:50-14:10

鳥巢 哲生（食品機能化学）

雲南発酵茶のコレステロール吸収阻害活性成分の化学的解析

14:10-14:30

岡 浩輔（食品栄養学）

きのか抽出物による消化管免疫系の細胞傷害性亢進作用に関する研究

14:30-14:50

高槻 愛美（食品栄養学）

胆汁酸の消化管上皮増殖亢進と発がん関連因子に及ぼす作用に関する研究

14:50-15:10

小笠原 達（生命科学院・生命システム科学コース）

北海道米「ゆきひかり」の摂取によるアレルギー抑制作用に関する研究

15:10-15:30

笹島 奈穂（生命科学院・生命システム科学コース）

Consumption of fructo-oligosaccharide reduces
2,4-dinitrofluorobenzene-induced contact hypersensitivity through
modification of microbiota in mice （フラクトオリゴ糖による腸内細菌の修飾を介した接触過敏症の抑制）

15:30-15:40 <休憩>

15:40-16:00

後藤 美紀子（機能性食品健康科学）

抗動脈硬化作用を有するリン脂質プラズマローゲンの体内合成を促進する食品成分の探索 ～myo-イノシトールの新規作用に関して～

16:00-16:20

斎藤 憲一（機能性食品健康科学）

フィチン酸とフィチン酸部分分解物による大腸がん細胞株の増殖抑制作用とその作用機構の相違

16:20-16:40

中島 進吾（機能性食品健康科学）

消化管内分泌細胞における大豆 β 51-63 ペプチドによるコレシストキニン分泌機構の解明

16:40-17:00

谷仲 真太郎（機能性食品健康科学）

消化管内分泌細胞における食品たんぱく質受容機構の解明

N 3 1

森林・緑地管理セッション（丸谷知己教授）

9:00-9:20

吉田恵理（花卉・緑地計画学）

リシリヒナゲシの遺伝的解析と保全に関する研究

9:20-9:40

勝又 聖乃（森林生態系管理学）

農地帯の森林における樹洞木の分布およびエゾモモンガによる冬期のねぐら選択

9:40-10:00

瀬野 太郎（森林生態系管理学）

岩盤河道と自然河道における魚類生息環境の比較 -生息場利用の季節変化に着目して-

10:00-10:20

上田ゆかり（森林政策学）

企業の森づくり活動の現状と課題

10:20-10:30 <休憩>

10:30-10:50

杉本 健輔（森林政策学）

森林環境税の実施・見直し過程に関する研究

10:50-11:10

北條 堯士（森林政策学）

市民団体を支援する中間支援組織に求められている役割 -札幌都市圏を事例として-

11:10-11:30

後藤 健（流域砂防学）

水理実験による摩擦型ダムの土砂調節機能に関する研究

11:30-11:50

高島 唯（流域砂防学）

床固工の複断面化に伴う上流堆砂域からの土砂流出と河床低下

11:50-12:10

福井 宏和（流域砂防学）

軟質岩盤地域でのガリー浸食の発達とその要因

N 3 1

森林資源科学セッション（代表：浦木康光教授）

13:00-13:20

兼俊 壮明（造林学）

外来種ニセアカシアの光合成と窒素利用特性 - 光環境、高二酸化炭素および窒素沈着に着目した環境応答 -

13:20-13:40

松並 志郎（造林学）

ニセアカシアの根萌芽による分布拡大の実態解明と管理法

13:40-14:00

金澤 香枝（森林化学）

リグニン分析法のエーテル結合開裂能の評価 - β -*O*-4 型人工リグニンポリマーの分解性-

14:00-14:10 <休憩>

14:10-14:30

國廣 桂子（森林化学）

オリヅルランのホルムアルデヒド吸着挙動とホルムアルデヒド脱水素酵素（FALDH）活性

14:30-14:50

杉山 祐介（森林化学）

リグニンの化学構造が熱挙動に与える影響 -C6-C3 型 β -*O*-4 人工リグニンポリマーの熱流動性-

14:50-15:10

常田 和芳（森林林資源生物学）

十勝岳の砂防工事跡地における植生修復-樹木実生の生残・成長とマルチングの影響-

15:10-15:20 <休憩>

15:20-15:40

森本 和成（資源植物創成学）

カラマツ木部柔細胞の深過冷却能に関与する冬季誘導性蛋白質の解析

15:40-16:00

葭葉 恵（資源植物創成学）

木部柔細胞の深過冷却機構における細胞内可溶性糖の役割

16:00-16:20

本山 淳一（木材工学）

野外実験による樹木抗力係数の推定

16:20-16:30 <休憩>

16:30-16:50

池田 啓輔（生存基盤環境学）

緑化木の幹折れ危険度診断

16:50-17:10

オクム・ゴードン・ワニャマ（木材工学）

Effects of joint member wood density on the performance of mortise and tenon joints

17:10-17:30

桜井 義久（木材工学）

木質構造における機械的接合部の履歴特性